

平成24年12月27日（木）  
健康局総務課  
（ダイヤル） 03(3595)2207

原爆症認定申請に係る処分状況について  
（平成24年7月、8月、9月審査分）

今般、平成24年7月、8月、9月に審査を行った原爆症認定申請に係る処分状況についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

1 審査月別処分状況

<審査月別認定・却下件数（単位：件）>

審査月	認定	却下	合計
平成20年度	2,919	62	2,981
平成21年度	2,807	2,134	4,941
平成22年度	1,435	5,000	6,435
平成23年度	2,044	1,937	3,981
平成24年4月	186	83	269
平成24年5月	143	89	232
平成24年6月	50	70	120
平成24年7月	14	24	38
平成24年8月	76	43	119
平成24年9月	174	111	285
7～9月計	264	178	442
平成24年度 （9月末現在）	643	420	1,063
総計	9,848	9,553	19,401

## 2 疾病別処分状況

### <認定疾病別認定状況（単位：件）>

認定疾病名	認定件数
悪性腫瘍	232
白血病	26
副甲状腺機能亢進症	0
放射線白内障	4
放射線起因性が認められる心筋梗塞（急性冠症候群を含む）	1
放射線起因性が認められる甲状腺機能低下症	0
放射線起因性が認められる慢性肝炎・肝硬変	1
上記以外の疾患	0

### <申請疾病別却下理由（単位：件）>

申請疾病名	放射線起因性が認められないため	要医療性が認められないため	放射線起因性及び要医療性が認められないため
悪性・良性腫瘍	69	10	2
造血系疾患	7	2	0
副甲状腺機能亢進症	0	0	0
白内障	21	1	0
心筋梗塞（急性冠症候群を含む）	14	0	0
甲状腺機能低下症	14	0	1
肝障害	6	0	0
上記以外の疾病	35	0	0

※区分をまたがる複数の申請疾病がある場合は重複して計上しているため、申請件数とは合致しない。

※「上記以外の疾病」の欄には、上記のいずれの区分にも該当しない申請疾病のみの申請件数を計上。

※放射線起因性が認められないと判断された場合の例

- ①原子爆弾の放射線に起因する疾患を発症するほどの放射線被曝がなかったと判断された。
- ②申請された疾患と放射線との因果関係が証明されていないと判断された。
- ③放射線起因性が指摘されている疾患に罹患しているが、申請者の年齢（加齢とともに白内障、心筋梗塞は増加する）、生活習慣（喫煙、肥満によって心筋梗塞は増加する）、持病（高血圧、高脂血症、糖尿病によって心筋梗塞は増加する）、特徴的な所見（放射線白内障には特徴的な所見がある）等を分科会において考慮し、放射線起因性がないと判断された。
- ④提出された資料からは疾患が存在するかどうか判断できないと判断された。

※要医療性が認められないと判断された場合の例

- ①放射線起因性のある疾患に罹患しているものの、治療が必要な段階ではない（検査値にやや異常があるが、症状がなく治療を必要としないなど）と判断された。
- ②放射線起因性のある疾患に罹患していたが、手術等の治療の結果、該当疾患に対する積極的な医療が必要ではなくなったと判断された。

※手帳に記載された被爆状況が積極的に認定することとしている目安（3.5km 以内での直接被爆等）に該当しない場合であっても、審査において、客観的資料の確認等により、相当程度の被曝を受ける状況にあったと認められた場合には、認定されている場合がある。